

習志野市第4次男女共同参画基本計画の策定について

- 令和6年4月24日に人口戦略会議から発表された『令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート』によると、千葉県内で「持続可能」と分析された自立持続可能性自治体は、流山市と印西市のみですが、今後習志野市が魅力あるまちとして、市民・国民に選ばれる第3の自立持続可能自治体となるためには、市全体で基本構想の目標である「多彩で豊かな交流が広がるまち 習志野」に向かって、各部の事業、計画に着実に取り組んでいく必要があります。本計画においてもその視点を重視していくことが必要。次期計画は長期間の計画となるため、令和15年を見据えた目標の設定をし、その目標に向かって、現計画を見直し、策定していただきたい。
- また、市全体として、各部事業で、男女共同参画及び多様性の視点を持って取り組んでいただきたい。
- 重点施策と成果指標の関係性が分かりづらいため、重点施策は成果指標を設定すべきと考える。
 - 成果指標の目標値について、「上昇」「低減」という表現としていますが、数値化することで、令和15年に達成すべき目標値を明確にしていきたい。
 - 成長意識やコミュニケーション、価値観等について世代間ギャップがあるため、年齢層を考慮した取り組みを推進していくことが求められる。
 - アンケート調査は行政に意見を出す機会であるため、地域や市民団体等の協力を得て、より多くの市民に回答してもらう方法を検討していただきたい。
 - 各部署でそれぞれ事業に対し、真摯に取り組んでいると思いますが、横に繋げていただきたい。
 - 啓発活動の効果を把握するため、管理指標について、各事業の目的が分かるよう、参加人数やアンケート回答結果について、詳細に目標を立てる等、検討していただきたい。